

# 幼稚園便り



## 寒暖差に驚いた1週間 保育活動は順調にスタート!

今週から、午前保育ながら令和4年度の保育活動が本格的にスタートしました。

ところが月曜日から、季節外れの暑い日が続き驚いてしまいました。園児達は元気に過ごしていますが、水分補給をしっかりとしながらの保育となりました。

一転、木曜日からは3月並みの寒さになりました。寒暖差で体調の維持が大変な4月半ばの1週間でした。

幼稚園では、少々暑さが治まった水曜日にぞう組とりす組がお花見を兼ねて厳美溪のお散歩に行きました。桜の花はほぼ満開の状態でした。

今年の桜はこの暑さで一気に花が咲き誇っています。厳美溪が一気に華やいだ景色になりました。この景色を見ながらの散歩は厳美幼稚園の良さです。

そして、入園したばかりのぽんだ組さんは、「園たんけん」でホールや職員室、りすやぞう組のお部屋めぐりをしました。



お花見散歩(りす・ぞう)



園たんけん(ぽんだ)

### 市教委からの連絡(文書を一緒に配布)

#### 家族が濃厚接触者になった時の園児の登園について

本日、園便りと一緒に市の教育委員会からの保護者あて文書をお届けしました。園児の同居家族が感染したり濃厚接触者になったりした場合の登園方法について指示されています。

良くご覧いただき、対応いただきたいと思います。また改めて感染防止に努めましょう。

# 巖美幼稚園は40周年を迎えました

巖美幼稚園は、昭和58年（1983年）に設立され、本年40周年を迎えました。PTAの皆さんと協力し、40周年を振り返り簡素ながら歴史を振り返る企画を行っていききたいと思います。

今回は、歴代の卒園アルバムの展示のお知らせと創立当時のエピソードを振り返ります。どうぞご覧ください。

## 昇降口に歴代の卒園アルバム展示

### 巖美幼稚園の歴史を振り返り①

#### ◀ 昭和58年 創立の年 ▶

一関市内で3番目の市立幼稚園として誕生  
園児数は86名（4歳児、5歳児各2クラスずつ4クラス）  
園舎は昭和58年4月7日完成（総工費1億300万円）  
職員数は7名（バスの運転手・添乗員含めて）  
当時のエピソード

- 園舎の周辺に五月やドウダンつつじを植える。
- 4月26日に親子で交通安全教室実施
- 8月20日に落成式
- 園で飼っていたうさぎ4羽とニワトリ2羽が野犬に襲われてしまったそうで、地区民の方が園に新たにうさぎとニワトリを贈ったとのことです。  
子供達の表情に明るさが戻ってきたとの新聞記事です。
- ひな人形が市内の建設会社社長さんから贈られました。  
（園舎を作った会社）
- 行事は今と大きな違いはありませんが、1月8日に餅つき大会を行っていました。また、お泊まり保育も行われていました。

#### ◀ 昭和59年、園歌と園章ができる ▶

園児数は93名（4歳児、5歳児各2クラスずつ4クラス）  
職員数、10名に増える。（バスの運転手・添乗員含めて）  
当時のエピソード

- 園歌作成に向けてスタート（作成委員会発足に向けて動き出す）
- うさぎの赤ちゃん誕生（5月13日夜から14日の朝にかけての出来事。食べる量が増えてエサ集めが大変だったようです。でもかわいい赤ちゃんが生まれて園児達は大喜びだったとのことです。）
- 6月19日わんぱく広場が完成  
（小雨交じりの天候の中、園児の保護者87名が3時間ほどをかけて完成させたとのこと。 工事に先駆けて工事の安全を願った神事も行ったとのことです。）
- 園歌がついに完成11月25日の学芸会で披露されました。歌詞は及川貞四郎先生、作曲は石川芳雄先生
- 学芸会では、園歌と一緒に園章も披露されました。鳩と桜の花びらをモチーフにしたもの。遠藤寛仁先生考案。



昇降口に卒園アルバムを置きました。これまでの園の歴史を見ることができます。園にお寄りの際や保育参観時にご覧いただきたいと思います。